

Yame City

Press Conference





Contents

01 | 「地域課題解決型」
新規ビジネス創出支援

02 | くぎさきにこうふん 釘崎二号墳、つるみやまこふん 鶴見山古墳が
『八女古墳群』に追加指定

03 | 災害時のペット避難所



01

「地域課題解決型」 新規ビジネス創出支援

New Business Creation
Support

八女市ローカルベンチャー事業

▶ 事業の目的

起業・創業志望者を地域内外から呼び込み、地域資源や地域課題をテーマにした事業のタネ（≡アイデア）を育成することで、起業・創業志望者が**八女市で起業するサイクル**を作り出し、**地域課題の解決・経済の活性化**を目指します

1. ビジネスコンテスト & ローカルベンチャースクール

ビジネスコンテスト：地域内外から、八女の地域資源を活用した／地域課題を解決するビジネスプランの提案を募集し、コンテストにより8つの提案を選出します。

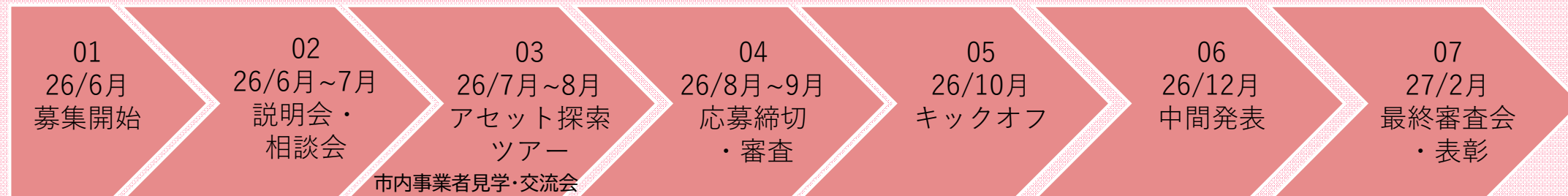
ローカルベンチャースクール：メンターが選出された8人を伴走し、事業内容をブラッシュアップ。最終審査会でグランプリを決定します。

募集期限：2026年**8月23**日（日）まで

※6/29 オンライン説明会

7/5 東京説明会（有楽町・ふるさと回帰支援センター）

全体スケジュール



本事業のポイント

1. 事業の拠点は廃校（旧川崎小学校）を活用
2. 地域課題の設定（6ジャンル）
1, 空き家 2, 八女茶 3, 工芸・ものづくり
4, 食文化 5, IT・ワークスタイル 6, デザイン
3. ビジネスコンテスト（最終審査）賞金
グランプリ**50**万、準グランプリ15万、入選3万×6人
4. 専門家による伴走支援（8人の選出者）
提案過程から事後伴走まで手厚い支援
5. 企業・創業レクチャーシリーズの活用
（8人の選出者以外も受講可能）

八女市ローカルベンチャー事業

2. 起業・創業レクチャーシリーズ

地域の先駆者6名・専門家6名の計12名による、起業に関する様々な疑問・悩みに答える講座を開催します

参加無料 全12回（2026年9月19日（土）～2027年2月23日（火））



1

家業に戻り、新たな茶領域に挑戦

茶寮 千代乃園 / 原島 春花



2

コーヒー・カレー、また会うための居場所をつくる

GOODSEEYOU! / 牛島 和也



3

音楽、古道具、収集。好きの延長にある仕事と暮らし

鋤田収集事務所 / 鋤田 光彦



4

本屋という文化を久留米・うきはで実践し営む

MINOU BOOKS / 石井 勇



5

竹と向き合いながら、暮らしながらつくる

竹工芸 / 長岡 由記



6

「おこわ」という伝統食と経営

ニシコーフードサービス / 甲木 雄平



7

都市と地域の間で、街を軸に活動する建築家

rhythmdesign / 井手 健一郎



8

デザイン事務所と本屋とビルと、拡張するデザイナー

対対/tuii / 田中 淳



9

シェアオフィスを起点に今宿のまちづくりを

SALT / 須賀 大介



10

不動産とまちづくり、那珂川町の取り組みを通じて

In this town / 長谷川 繁



11

地域ブランディングと食とカフェ、編集的な視点

アンドローカルズ / 高倉 朋子



12

森から考える地域のアイデンティティ

トビムシ / 竹本 吉輝



ローカル10,000プロジェクト

▶ 事業の目的

金融機関から融資を得て、**八女市内の課題解決**に取り組む新たなビジネスを立ち上げる民間事業者の初期投資費用を支援することで、市内における**持続可能な経済・雇用の循環**を創造することを目指します

▶ 対象要件（全て満たす市内事業者）

☑ 地域への貢献

地域の課題解決と、雇用・産業への高い波及効果があること

☑ 先進性・モデル性

他自治体の手本となる、独創的な新規事業であること

☑ 経営の自立

補助終了後も行政支援なしで継続でき自立していること

☑ 金融機関連携

地域金融機関から補助金と同額以上の融資を受けること

▶ 補助額・事業期間

☑ 補助額

総事業費の **1 / 2**

（上限1,250万円 / 事業者）

※金融機関からの融資額を超えない範囲内で補助

☑ 事業期間

交付決定を受けた年度から翌年度末までの**最大2年間**

▶ 対象経費

☑ 施設整備費

☑ 備品費

☑ 機械装置費

☑ 調査研究費

▶ 申請期限

☑ 7月31日（金曜日）

活用例①

古民家を活用した宿泊施設とレトロなBARの整備

➡ 観光客増・観光消費額の増により
地域における持続的な賑わいづくりを実現



活用例②

お茶を飼料に用いた緑茶カンパチの加工場整備

➡ 地域資源の掛け合わせによる
新ブランドの構築により
一次産業の活性化と新規雇
用の創出に貢献



「地域課題解決型」
新規ビジネス創出支援

地域課題との
関連性

濃

ローカルベンチャー
事業

ローカル10,000プロジェクト

創業期

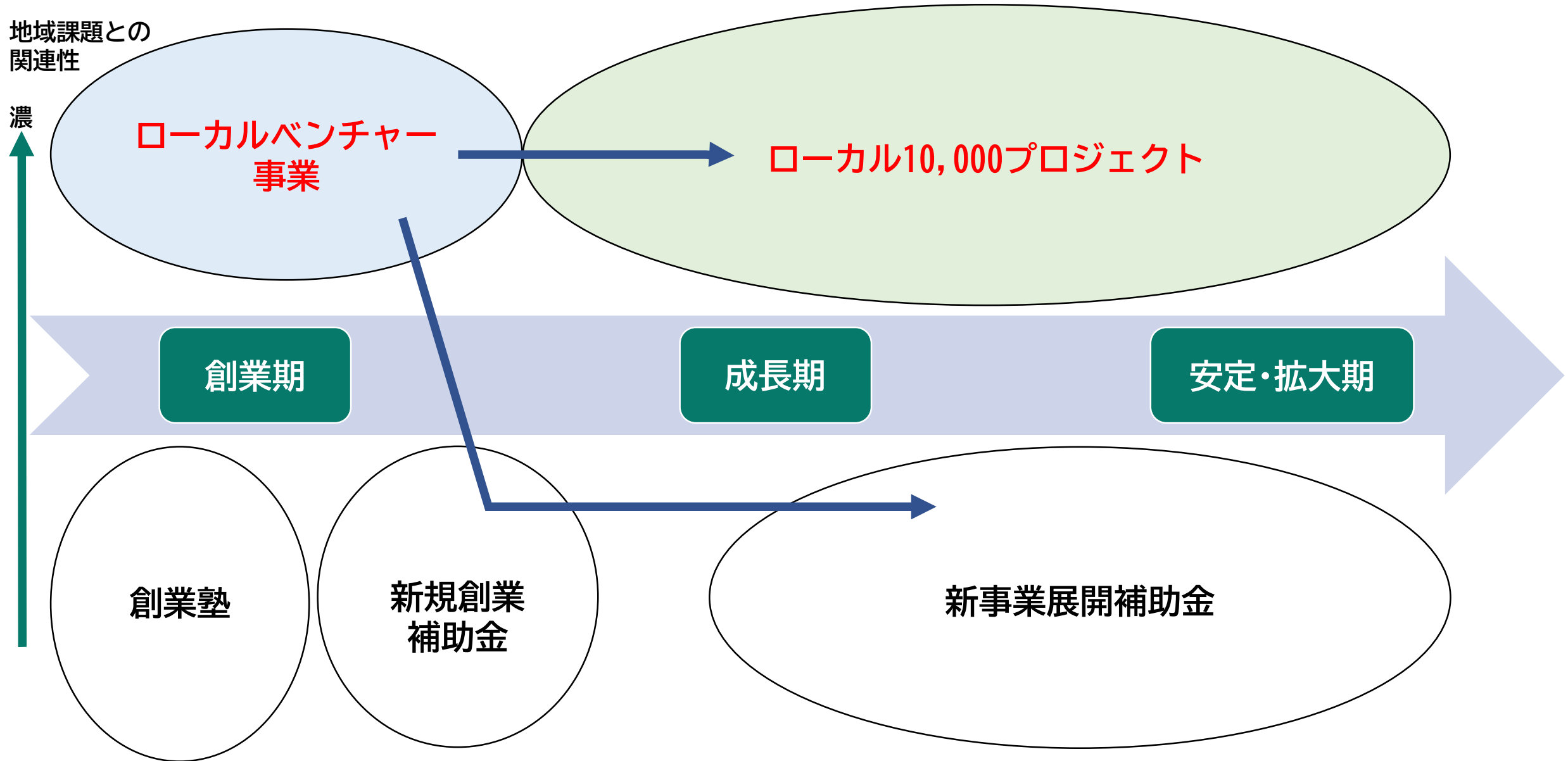
成長期

安定・拡大期

創業塾

新規創業
補助金

新事業展開補助金





02

くぎさきにごうふん つるみやまこふん
釘崎二号墳、鶴見山古墳が
『八女古墳群』に追加指定

Yame Kofun Group



釘崎二号墳と鶴見山古墳が、国指定史跡八女古墳群に追加指定されることが決まりました！

筑紫君(つくしのきみ)一族の墓と考えられている釘崎二号墳と鶴見山古墳は、令和8年6月19日の国の文化審議会の答申を受けて、文部科学大臣により、国指定史跡八女古墳群に追加指定されることが決まりました。



① 釘崎二号墳(くぎさきにごうふん)

5世紀後半の前方後円墳。墳長56.0m。

同時期の古墳としては八女古墳群の中で最大級。

岩戸山古墳よりも古い時代の筑紫君一族の墓である可能性が高い。



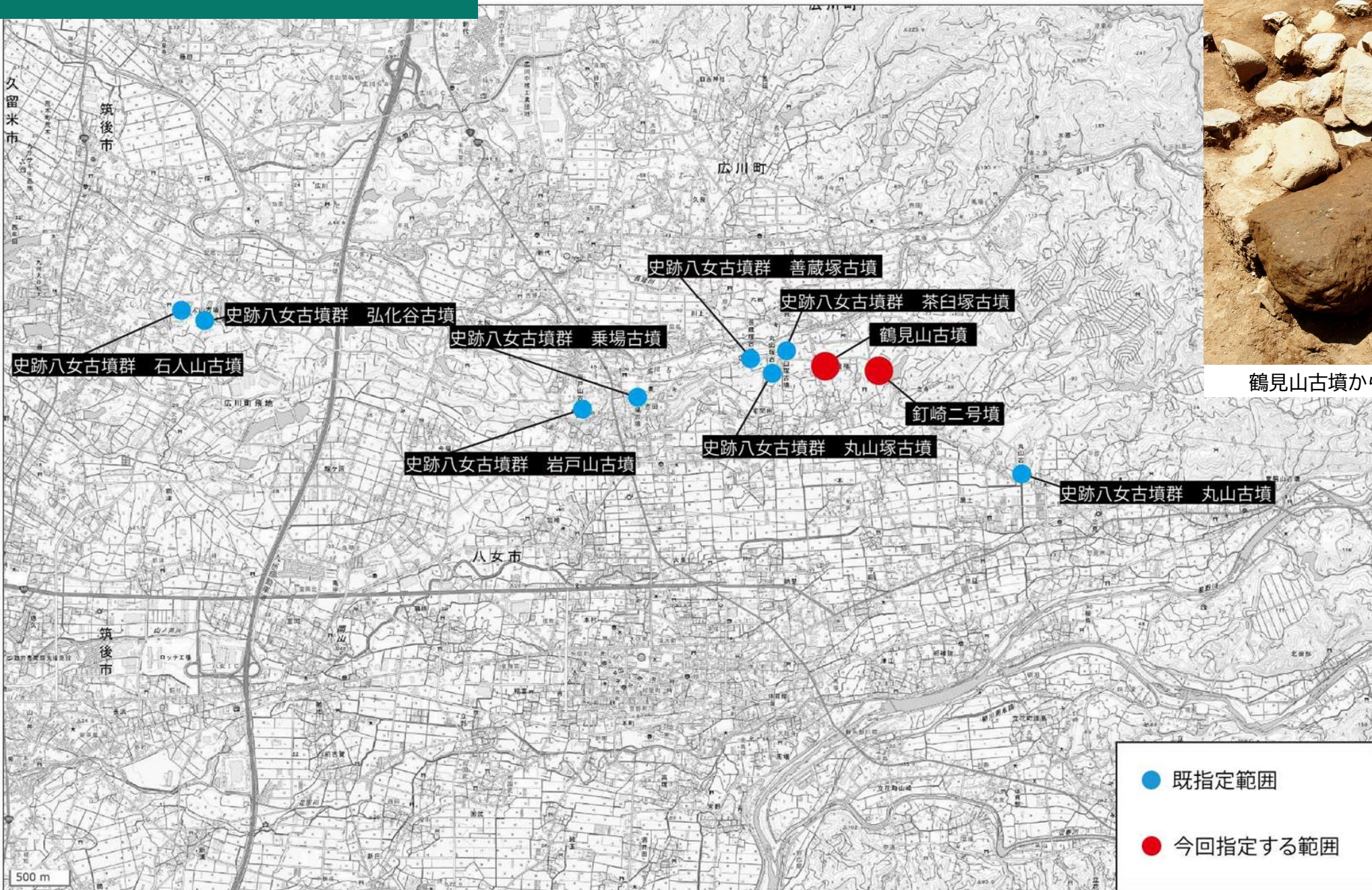
② 鶴見山古墳(つるみやまこふん)

6世紀中頃の前方後円墳。墳長87.5m。

八女古墳群の中で4番目に大きい。同時期の古墳としては県内最大級。

平成17年の調査で出土した武装石人は国の重要文化財に指定されている。岩戸山古墳よりも新しい時代の筑紫君一族の墓である可能性が高い。

『八女古墳群』に追加指定



鶴見山古墳から武装石人が出土した時の様子



鶴見山古墳出土武装石人

今回追加指定されることで何が変わるのか

① 整備に補助金

古墳用地の公園整備や、さらなる土地の買い上げなどに国の補助が受けられるようになり、調査研究に弾みがつきます。

② 活用・文化観光に拍車がかかる

九州オルレ八女コースとの連携や、市内の名所を結んだ文化観光ルートの開発、磐井の戦い1500年記念事業への集客などにつながります。

③ 八女古墳群保存活用計画の策定に向けて作業促進

調査結果を活かし、さらなる整備活用を進めるための法定計画を令和12年度までに策定します。



いわいの戦い
1500
Battle of Iwai 1500th Anniversary





03

災害時のペット避難所

Pet-friendly Evacuation
Shelter



開設の背景と目的

● これまでの指定避難所

全ての避難所でペットと一緒に避難が可能であり、今後もその運用は変わりません。

しかしながら、ペットを理由とする「飼い主の避難遅れ」や「避難所内のトラブル」が懸念されていました。

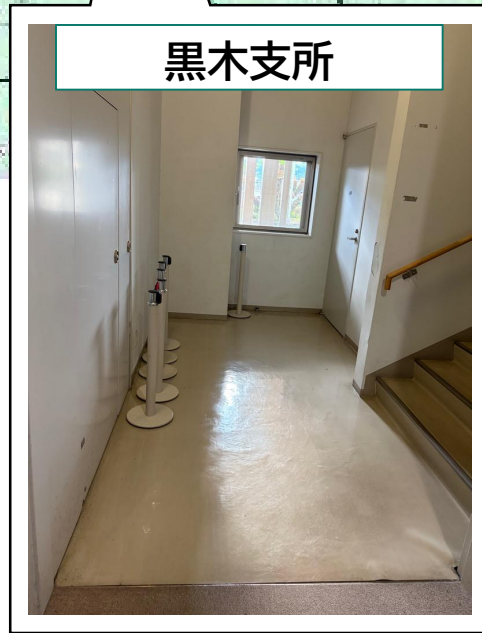
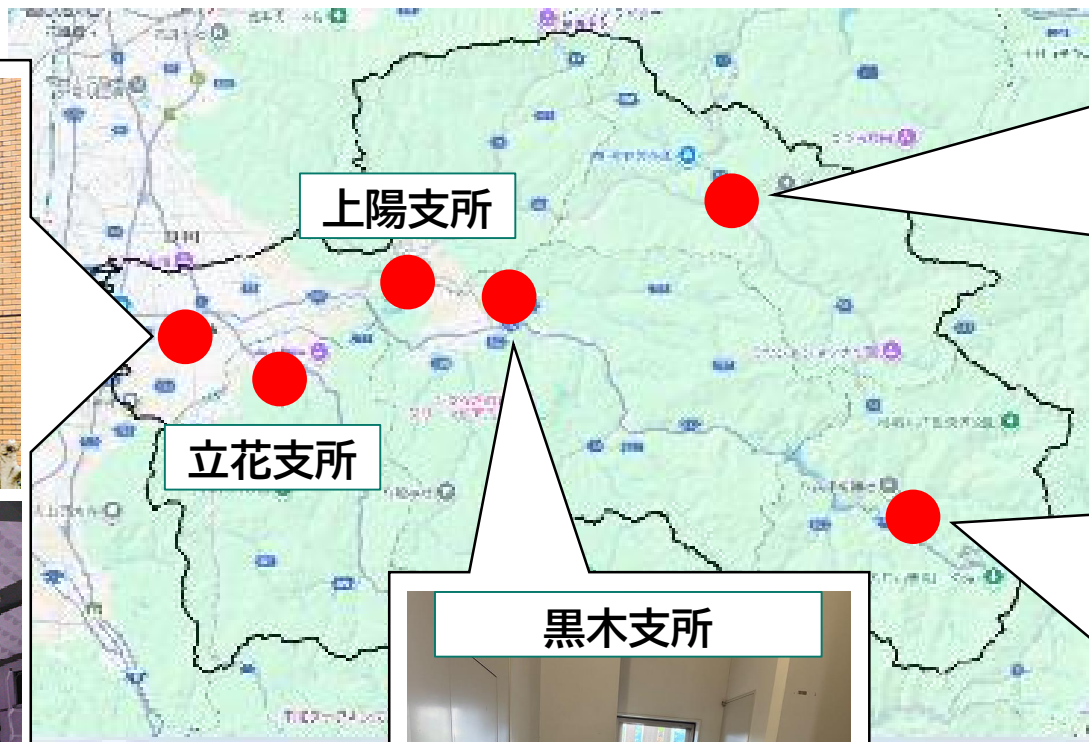


● ペットと安全で迅速な「同行避難体制」の確立へ

市内6地域(旧市町村ごとに各1か所)にペット専用スペースを確保した避難所を設置します。

【八女】八女文化会館	【黒木】黒木支所議会棟	【立花】立花支所地下駐車場
【上陽】上陽支所地下駐車場	【星野】星野公民館	【矢部】矢部公民館

 ペット避難所位置図



基本ルール 【完全分離と自己管理】



完全分離: 衛生面・アレルギー配慮のため、【飼い主エリア】と【ペットエリア】は完全に分離(同室不可)

自己管理: 市職員による世話(餌やり・清掃等)はありません。飼い主が責任をもって行ってください。

受け入れ条件とお願い

備え(日頃からのお願い)	受け入れ条件(避難時)
● ケージに入ることやトイレのしつけ	● ケージやキャリーバッグ等で管理できること (大型動物、特定動物等は対象外)
● 狂犬病予防注射の接種	● リード・首輪の着用、無駄吠え防止などのマナー遵守
● 迷子対策の徹底(鑑札・マイクロチップ・迷子札の装着)	● 施設の清掃、ゴミ・排泄物の持ち帰り



八女市